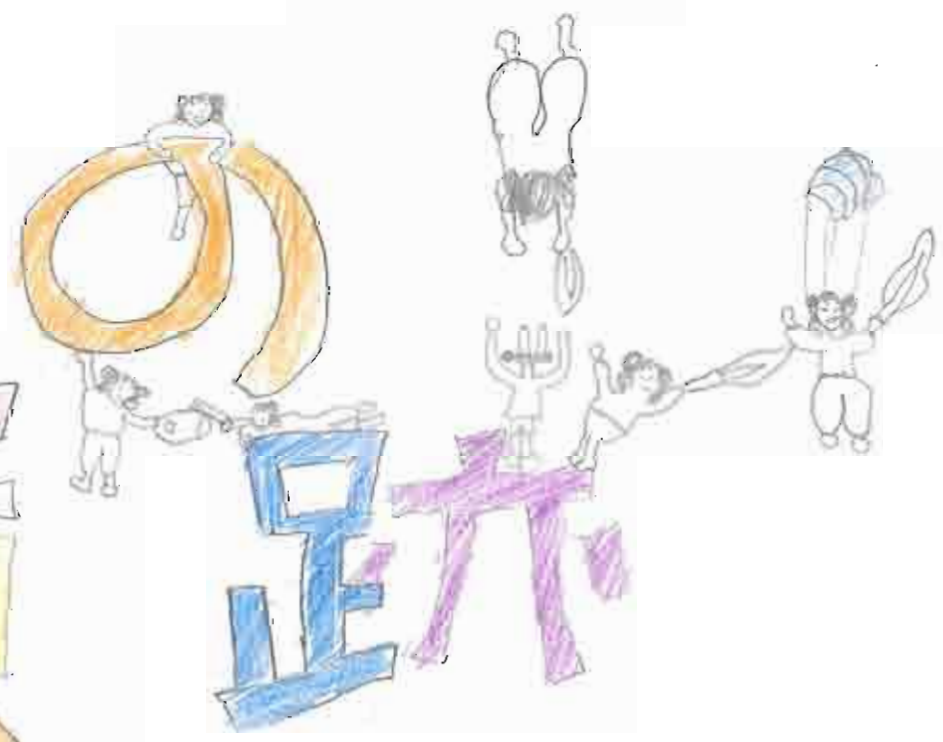
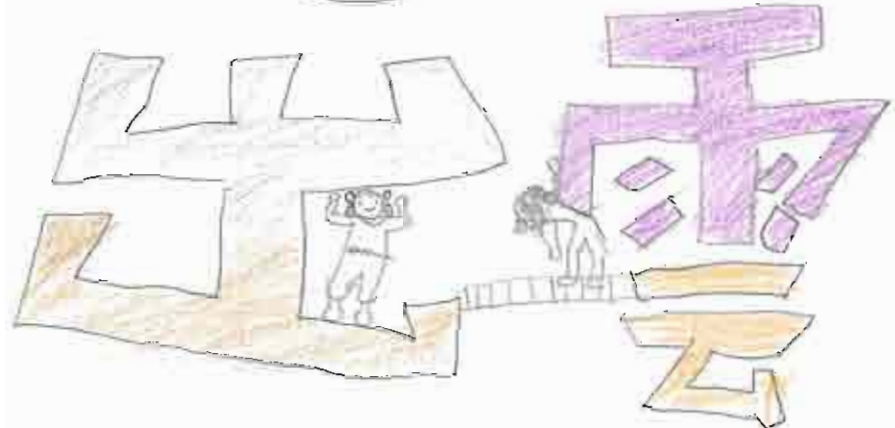
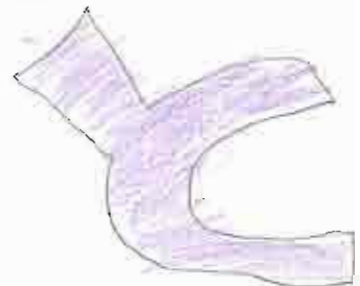
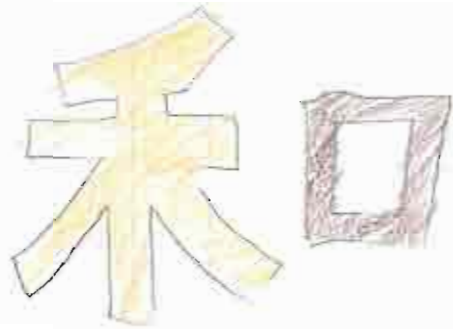
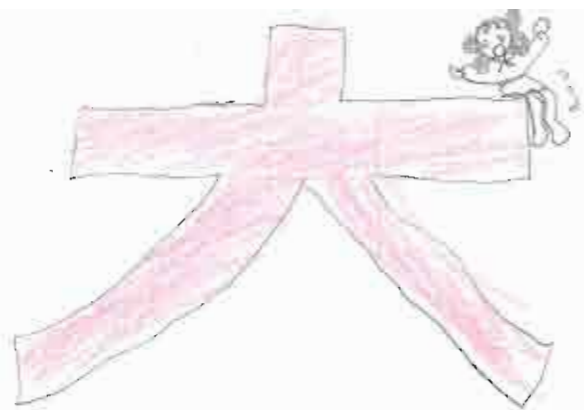


# 大和と出雲の 遺跡めぐり

南池袋小学校 3年1組 小松 桃子



# 目次

1. はじめに

～奈良編～  
(大和)

2. 明日香のサイクリングコース

3. 高松塚古墳

4. 石舞台古墳

5. 酒船石古墳

6. その他の石造物

～鳥根編～  
(出雲)

7. 荒神谷遺跡

8. 加茂岩倉遺跡

9. 遺跡が作られた時代

10. 終わりに

# 1. はじめに

私は、二年生の夏休みに、奈良へ旅行に行きました。サイクリングをしながら、明日香周辺の遺跡をめぐりました。遺跡とは、昔、大きな建物や事件などのあった跡のことをいいます。石舞台古墳や高松塚古墳などの古い おほかや、さる石、亀石などの巨石物を見学しました。

そして、今年は島根の祖父母の家に遊びに行った時、荒神谷遺跡と加茂岩倉遺跡を見学しました。

いつごろ誰が何のためにどうやって作ったのか、間に思い調べたいと思いました。



# ～奈良(大和)編～

## 2. 明日香のサイリングコース

8月9日 朝10:30ごろ飛鳥駅を  
出発し、昼ごろ石舞台古墳の近くで  
お昼ごはんを食べ、夕方4:30ごろ馬尺に  
もどりました。

右の地図で、青い線—は、  
私がじっさいに通ったコースです。  
オレンジで囲ったところ○は私が  
行った所です。

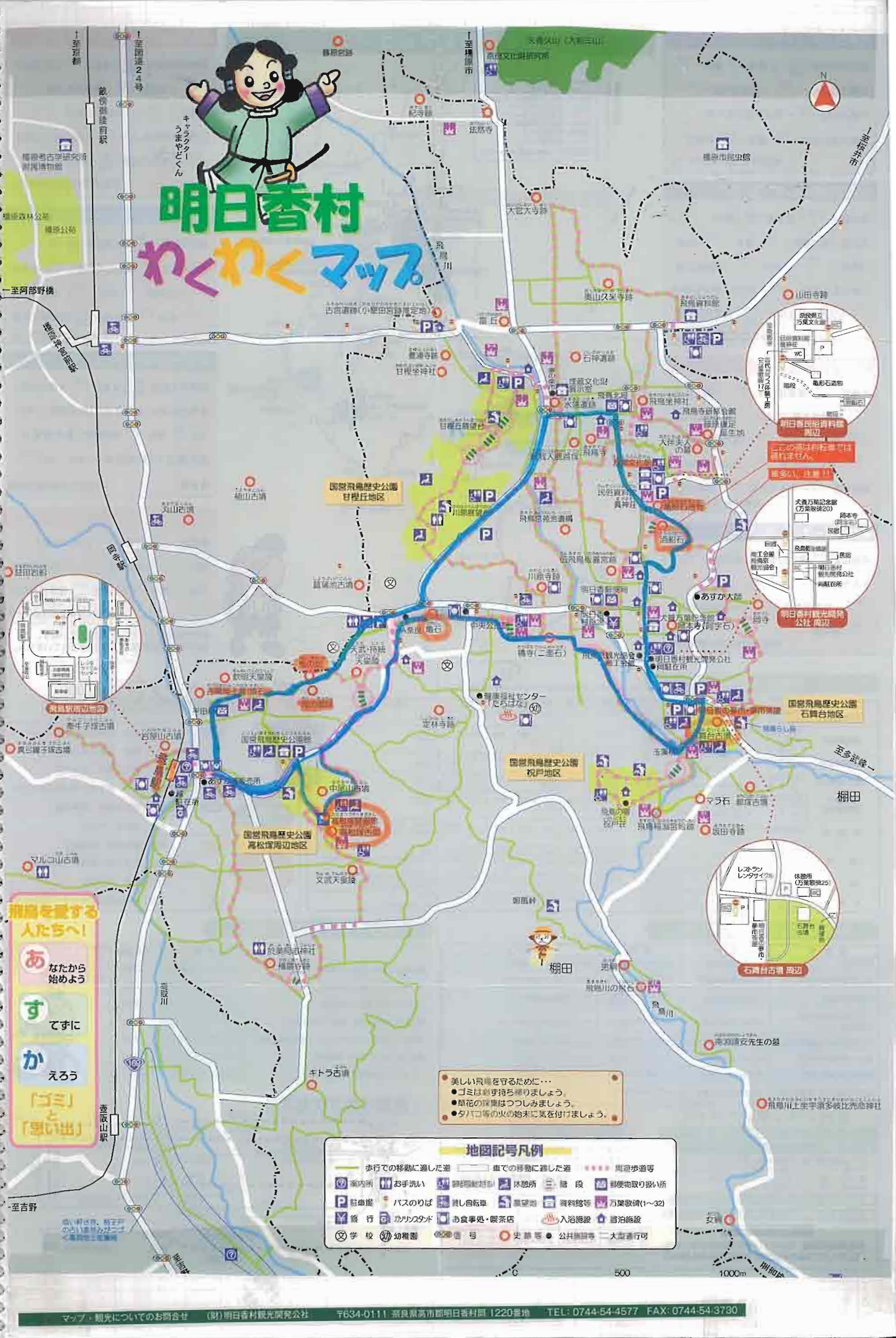
とてもあつい日だったので何度も  
休けいなから時間をかけて  
まわりました。



# 明日香村 わくわくマップ



キャッチフレーズ  
しんみぎやんぱん



このマップは両面印刷してご利用ください。  
このマップは両面印刷してご利用ください。  
このマップは両面印刷してご利用ください。



このマップは両面印刷してご利用ください。  
このマップは両面印刷してご利用ください。  
このマップは両面印刷してご利用ください。



このマップは両面印刷してご利用ください。  
このマップは両面印刷してご利用ください。  
このマップは両面印刷してご利用ください。

**飛鳥を愛する人たちに!**  
あなただから始めよう  
すてずに  
かえろう  
「ゴミ」と「思い出」

美しい飛鳥を守るために...  
●ゴミは必ず持ち帰りましょう。  
●草花の採集はつしみましょう。  
●タバコ等の火の始末に気を付けましょう。

**地図記号凡例**

歩行での移動に適した道	車での移動に適した道	馬道歩道等
案内所	お手洗い	観音堂
駐車場	バス乗り場	貸し自転車
旅行	コンビニ	お食事処・喫茶店
学校	幼稚園	信号
		史跡等
		公共施設等
		大型通行可
		郵便物取り扱い所
		階段
		資料館等
		万葉歌碑(1~32)
		入浴施設
		宿泊施設



## 2. 高松塚古墳

私が最初におとずれた場所は、高松塚古墳です。古墳とは、土を小山のようにもり上げた日本古代の墓のことをいいます。古墳には、円墳・

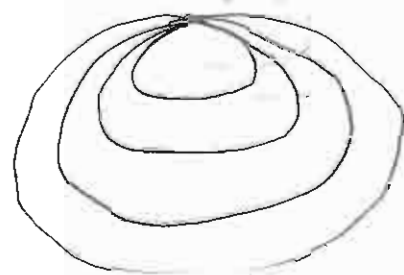
方墳・前方後円墳などの形があります。高松塚古墳は、円墳です。大きさは直径18メートル、高さ5メートルです。

石室内部は、しっくいでありがためられていて、そこに当時の女の人の絵や男の人の絵が描かれていたそうです。また天井には、星座も描かれていたそうです。

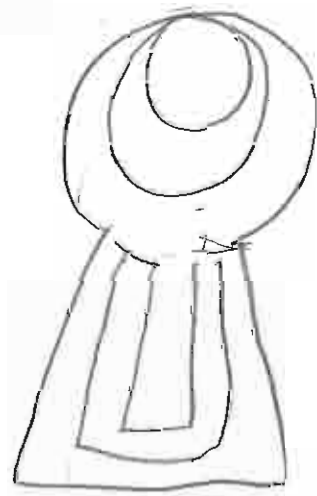
# 古墳の形



方墳



円墳



前方後円墳



高松塚古墳は馬尺から  
自転車で10分ぐらいの  
ところにある。田んぼや火田、  
林に囲まれたところ  
にありました。

とてもあつり日だったので  
こがけのあるうらがわから写真  
をとりました。



この石室は、現在解体して運び出され、修理されています。なせかというところ、この墓が発見されて、調査されているときに、へきがにカビが<sup>サ</sup>生えていたんでしまったからです。修理が終わったらまた元の場所にもどされるそうです。

古墳の近くにへきが館宮があり、そこで発見された当時のへきかと、カビが生えていたんでしまったへきかの<sup>サ</sup>しつりか<sup>カ</sup>をみる事ができます。

飛鳥の美、ここに再現



高松塚壁画館



# 4. 石舞台古墳

次におとすれた古墳は、

石舞台古墳です。巨石(一番大きな石は)を  
つみ上げた日本最大級の  
横穴式の石室古墳(方墳)です。  
蘇我馬子という人の墓だとされます。

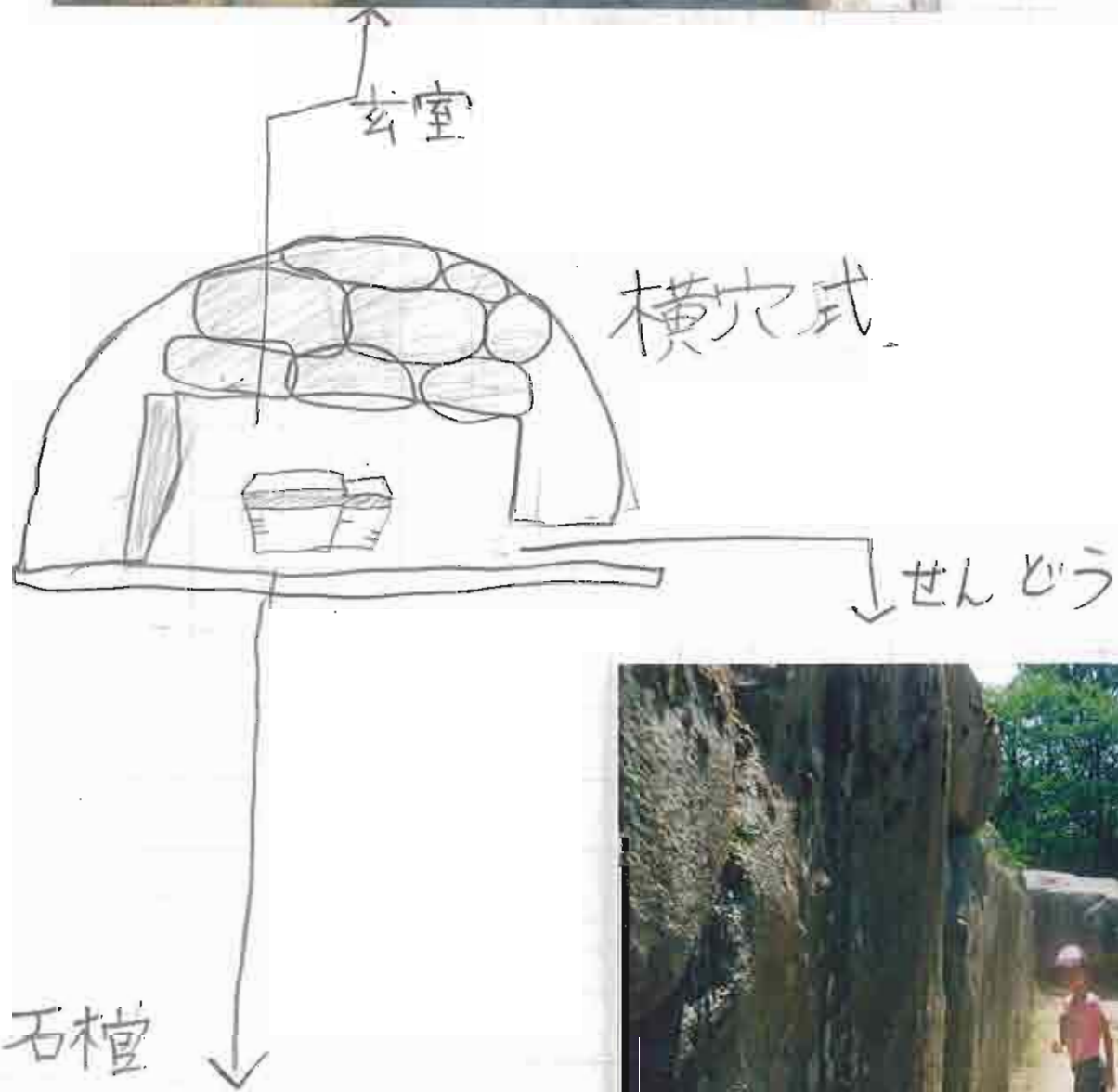
石舞台古墳は真神原を  
見下ろすような山中復に  
作られています。



馬尺から、7km ほど  
はなれた所にあります。



2012/08/09



横穴式

せんどう

石棺



2012/06/09



石舞台古墳説明

この石舞台古墳は、飛鳥時代の古墳として知られる。石舞台古墳は、石製の石室を持つ横穴式古墳である。石室は、石製の石室を持つ横穴式古墳である。石室は、石製の石室を持つ横穴式古墳である。

2012/08/09

石室内におさまられていた  
物はもちさらされてしまって  
今はありません。

←これはしりょうをもとに  
ふく元したものです。



# 5. 酒船石遺跡

酒船石は石舞台古墳から

北に約1km進んだ所に

あります。酒船石は、長さ約

5.3m、幅約2.3mの花崗岩で、

石の表に大小4個の円形・楕円形

とそれらをむすぶ溝が彫られて

います。酒を絞るために使った、

薬を作るために使った、という説も

ありますが、実さし何のために作られた

かは、またよく分かりません。

酒船石のある丘を下った谷から  
水が湧き出すせつと表面を楕円形  
にくりぬいて水をためられるようにした  
亀形と小判形の2つの石造物が  
見つかりました。これらもかくめて  
酒船石遺跡と呼ばれています。



小高い丘の上の  
林の中にありました。

宮の東の山に石を累ねて垣とす

# 酒船石遺跡

Sakafuneishi-iseki

酒船石遺跡入場券  
大人  
ASUKA

酒船石遺跡

大土木工事を好んだという女帝、高祖天皇。まさにその時代を彷彿とさせるのが酒船石遺跡で、砂岩石垣や亀形石造物などの遺構が発出されています。亀形石造物周辺は、導水構造と立地から祭祀空間と想定され、多くの壁に包まれた石と水の部・風鳥を体感できる場所といえます。



# 6. その他の石造物

亀石



さる石



鬼のせっちゃん  
(トイロ)



長さ4メートル、高さ  
2メートルほどの大きな石  
でその下にカメの顔らしい  
物がまざんであります。

<sup>き</sup>吉<sup>ひ</sup>備<sup>ひめのみこ</sup>姫王の墓に置かれて  
いる猿に似た形の石造物。  
柵があり、よく見えなけれど  
4体あります。

鬼のトイシといわれる  
ふしぎな巨石物です。

これらの石造物は  
だれが何のために作ったか  
分かりません。



# 〜 島根(出雲)編 〜

## 7. 荒神谷遺跡

荒神谷遺跡は(島根県斐川町神庭)にあります。ここは、358本もの金同剣と16本の金同矛と6個の金同鐸が発見された遺跡です。たった1カ所からこれだけたくさんの金同剣や金同矛が発見されたのは全国でもここだけです。これらの金同剣・金同矛・金同鐸は全て国宝に指定されています。

遺跡は林の中の急な斜面にあります。近くに、三宝荒神があることから荒神谷遺跡といえます。



金剛剣358本が出土した所

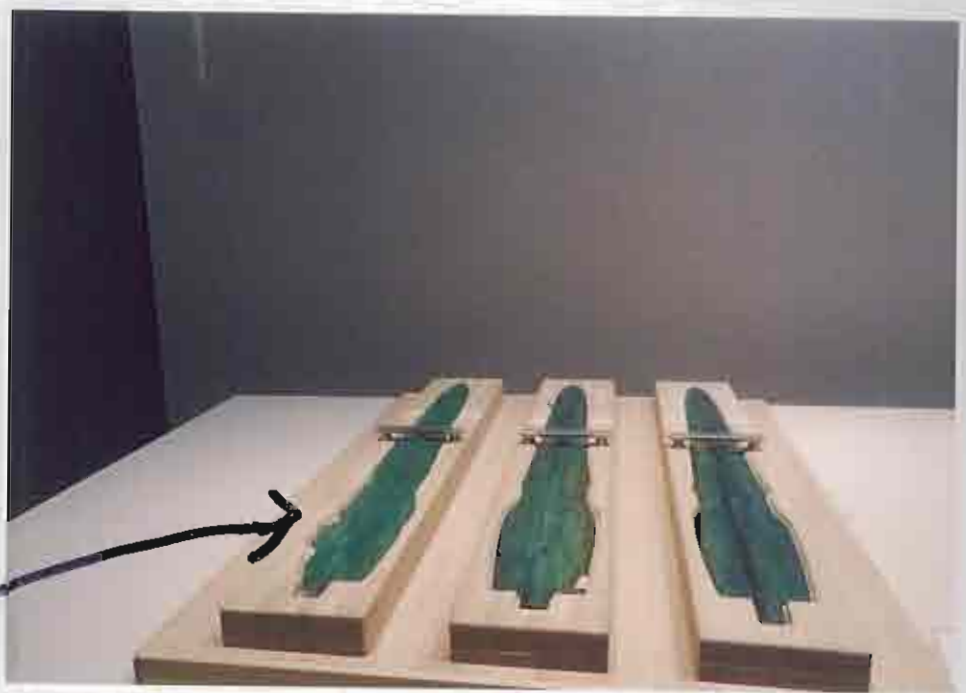


銅金罎6こ、金剛矛16本出土した所

これは、出土した本物の金剛剣です。







時間がたつと黄金色から  
青緑色になる。

## 荒神谷遺跡とは 神谷遺跡出土青銅器

荒神谷遺跡は、昭和58(1983)年、広域農道(出雲)ともなう遺跡分布調査で、調査員が田んぼの畦時代の須恵器をひろったことがきっかけとなり遺跡の南側に「三宝荒神」がまつられていること、実用の武器として弥生時代命名され、昭和59年、谷あいの斜面を発掘調査め頃に大陸から伝わり、日本の銅剣が出土しました。れるようになってから祭器遺跡は、『出雲国風土記』記載の出雲郡の神名火、わりました。出土した358本の弘経山の北東3kmに位置する斐川町神庭西谷は、いずれも50cm前後の中が埋納されていたのは、小さな谷間の標高22m、いわれる型式で、「出雲型銅剣」面で、昭和60年には、その地点からわずか7m離れるようになりました。出土しました。

### 銅剣358本



荒神谷で銅剣が発見されたとき、全国の銅剣出土総数したが、荒神谷では、4列に並んだ同じ形の銅剣358本出土しました。この発見は、わが国の弥生時代の青銅器の重要な出来事となりました。

### 銅鐸6個と銅矛16本



銅剣358本のすぐ近くに埋められていた銅鐸6個と銅矛16本は、これまでに例のないものでした。銅鐸には国内が含まれ、銅矛には北部九州で出土する銅矛にみられるなど、荒神谷青銅器の発見は、弥生時代について大いに深めるきっかけとなりました。

### 出土から国宝指定まで

昭和59年7~8月

#### 銅剣出土

県教育委員会の発掘調査により358本の銅剣を発掘

昭和60年6月6日

#### 重要文化財指定

銅剣が国の重要文化財に指定

昭和60年7~8月、6月30日

#### 銅鐸・銅矛出土指定

銅鐸6個・銅矛16本を発掘国宝に指定



荒神谷1号銅鐸

神を招くカネといわれてい、荒神谷1号銅鐸は、片面が重厚もう片面は市松文様という珍しい文様で飾られています。また、(り手)の断面は「凸」の形をしり、国内でも例のない銅鐸で、約23cmです。



### 銅矛

銅矛は根元が袋状になっており、ここに柄をさして武器として使われていましたが、しだいに大型化し、祭器として使われるようになりました。銅矛の中には菱形状の文様を研ぎ分けしているものもあります。全長は、68.5~84cmです。

写真提供：島根県教育委員会

Archaeological Museum of Kojindani

二〇〇〇年の時を越え  
「出雲の原郷」に今ふたたび...

荒神谷博物館

● 荒神谷博物館の動園は毎年夏に「2000年ハス」が花を咲かせます



# 金同剣・銅矛とは

## ① 金同剣

金同剣は、今から約2200年前ごろに朝鮮半島から、日本に伝わってきた武器です。金同剣は、銅に少しの錫や鉛をまぜて作られた青銅器で、作られた時は黄金色に光輝いていました。荒神谷遺跡から出土した金同剣358本の内、344本の根元部分にXじりかきさまれており、これが何をしめすのかなぞです。

## ② 銅矛

剣と同じく青銅の武器で、ちがいは根本の部分にあります。矛は、根元に穴が開いていて、そこにえをさすようにしているが、剣はえに根元をさすようにつくられています。

# 8、加茂岩倉遺跡

加茂岩倉遺跡は、荒神谷遺跡から約3.4km東南です。この遺跡は、銅金鐸39個が出土した場所です。この数は、1ヵ所から出土した銅金鐸の数としては日本最多です。

ここから出土した銅金鐸の特徴は、トンボ・シカ・人の顔などの絵がえがかれていることと、荒神谷の銅剣と同じようにXじるしがきざまれていることです。

銅金鐸の入っていた埋納坑



大小2個の銅金鐸が入れ子式になっていた。



# 銅金罽とは

銅金罽は元々は中国や朝鮮半島で家畜の首につけられていた小さな金鈴だといわれています。日本に伝わり(今から2200年前くらい)、たゞたん大きく祭りのための道具として使われました。

人の顔



ウミガメ



銅金罽のレプリカ



# 9. 遺跡がつくられた時代

石舞台古墳や荒神谷遺跡のつくられた時代はどんな時代だったのでしょうか？

## ① 弥生時代

荒神谷遺跡は『弥生時代』に造られたと考えられています。この時代は、今から約2300年前から1700年前までおよそ600年間つづきました。

### ② 弥生時代の特徴

- ・米づくりがさかんになる。
- ・米づくりをすることで、安定した暮らしが出来るようになり人口がふえムラがだんだん大きくなってきた。
- ・米づくりを祈る祭りが行われるようになり金銅鐸などの青銅器は祭りのためにつかわれるようになった。

## ② 古墳時代

約 1700年前ごろから日本各地で王たちの巨大な墓が作られるようになりしました。これらは『古墳』と言われ、古墳のつくられた時代を『古墳時代』と呼びます。奈良の石舞台古墳や高松塚古墳は、この時代の終りごろ(約1400年前)につくられたそうです。

### 古墳時代のおもな出来事

- ・大和朝廷が日本を統一する。
- ・朝鮮半島から仏教が伝わる。
- ・蘇我馬子が仏教を広める。

## 10. 終わりに

いろいろな遺跡を巡ったり、  
遺跡のことを本や博物館で  
調べて、昔のことや昔の人の様子が  
分かりました。でも疑問に残った  
こともたくさんあります。たとえば  
石舞台古墳を造ったといわれる蘇我  
馬子はどんな人だったのでしょうか？

高松塚古墳の壁画は、誰がかいた  
のでしょうか？ 荒神谷遺跡の金銅剣  
をうめた人たちはどんな人だったの  
でしょうか？ 何のためにあれだけの  
数々の金銅剣をうめたのでしょうか？

いろいろ分からないこともありますか？  
歴史っておもしろいなと思いました。

もっと歴史について勉強して

しょうらいは考古学者になりたい  
です。



## 調べるのに使った本

- 川島敏郎  
『日本の遺跡と遺産 3  
古代の遺跡』岩崎書店
- 竹内誠・木村茂光  
『地図でみる日本の歴史①  
縄文・弥生・古墳時代』  
ブルーベル館
- 古舎宮明廣  
『教科書の絵と写真で  
見る日本の歴史資料集  
旧石器時代～古墳時代①』  
岩崎書店
- 古川清行  
『読む日本の歴史 1  
日本を作った人びとと文化遺産  
大和朝廷の国づくり  
大和～奈良時代』あすなろ書房

。古川清行

『読む日本の歴史2』

日本を作った人びとと文化遺産

大和朝廷と国づくり 大和—奈良時代

あすなろ書房

。古川清行

『日本の歴史④ 大和の国の誕生』

古墳時代 飛鳥時代 小山峰書店

その他

『国宝荒神谷ガイドブック』

島根県斐川町教育委員会